

## 復活節第6主日

ヨハネ15、9-17

「友のために自分のいのちを捨てること、これ以上に大きな愛はない。」

\_\_今日は復活節の最後の日曜日です。復活節のこの最後の日曜日に、朗読は私たちの人生にとって非常に重要なテーマを反映するようになります。実際、私たちはこのテーマをよく知っています。そうです！このテーマは愛です。この言葉は世界で最も使われている言葉であり、実際にはあまり使われていないとも言えます。「愛」という言葉は非常によく使われる言葉です。子供、大人、お年寄り、、、みんなが口にする言葉です。この「愛」という言葉に取り組んだ本、雑誌、詩、物語、映画、演劇がたくさん書かれ、演じられています。私たちはこの言葉に非常に精通しています。

私たちの両親の愛のおかげで私たちは生まれました。良い先生のおかげで私たちは良い教育を受けました。愛のおかげで、私たちの世界はますます良くなります。一方、愛の虐待のために人々は残酷で無情になります。愛の欠如のために人々はお互いを殺し、お互いを破壊すらします。愛の欠如のために、人々はお互いから、そしてまた神からも隔てられていくのです。

福音書の箇所をさらに研究すると、イエスが16行のスピーチで愛という言葉が9回以上使用していることに気づきました。福音書のどこにも、愛のテーマがテキストをそれほど強く支配していません。その中で、今日の福音はきわだって愛について語っています。愛についての彼の言葉は、私たちにとって彼の最後の遺産です。彼は私たちの最高の価値を愛したかったのです。

さらに、「友のために自分のいのちを捨てること、これ以上に大きな愛はない」と言って、愛をより強調するように付け加えました。

新約聖書(ギリシャ語)の元の言語では、愛を表す4つの異なる言葉があります。最初は性的愛または体の性的衝動です。この愛の魅力は動物にも存在します。これは最低の種類のアガペーの愛です。これは完全に利己的です。二つ目は友情の愛です。この種の愛では、私たちは人々を愛するのが得意なので、人々が好きです。彼らは良い友達で楽しい仲間です。この愛は私たちに何かを与えるので、それは少し利己的とも言えます。

第三の種類のアガペーの愛は、親と子の間の愛です。それは通常利己的ではないので、それは本当の愛に近づきます。最後は無私の愛であり、ギリシャ人はこれをアガペーと呼びました。これは返済を考えずに与えたい愛の愛なので、それは利己的では

ありません。これは、イエスが今日の福音の中で語られている理想的な愛です。これは最高のタイプの愛であり、神が私たちに抱いておられる愛です。

今日の福音書では、イエスはお互いを愛していると言っています。イエス様の言葉を振り返って、「互いに愛し合う」という三つのことを提案したいと思います。まず、それは命令です。それは招待、要求、またはオプションではなく、命令です。命令であるため、これは私たちに完全な従順を要求します。だから私たちは他人を愛するために生まれました。第二に、私たちの主は、「お互いを愛し合う」とは言われません。「あなたが両方とも若いとき、またはあなたが両方とも健康なとき、お互いを愛し合う」とは言われません。主は「互いに愛し合う」とだけ言われました。したがって、この愛は無条件であり、制限はありません。「彼らがあなたを愛しているように、またはあなたがあなた自身を愛しているように、お互いを愛しなさい。」

他人を愛するための私たちの基礎は、この愛が不完全で不純であるため、私たちが他人から受け取った愛ではありません。

他の人を愛するための私たちの基準は、私たちが主イエスご自身から経験する愛です。神が私たちを愛しておられるので、私たちは他の人を愛しています。今日、私たちはこのミサを捧げ、これらの3つの考えを心に留めておきましょう。

👉 お互いを愛することは命令です。

👉 無条件でお互いを愛し、そして

👉 愛するための私たちのモデルは、私たちが他の人に見る愛ではなく、私たちに對する神の愛です。

